

**働き方改革ワークショップ
～テレワークの利用を考える～**

**攻めと守りのIT環境整備による
働き方改善**

2021年11月26日

株式会社エオネックス 三宅 健

目次

- 1. エオネックスの会社概要・
働き方改善プロジェクト室の設置**
- 2. コロナ契機のテレワークの緊急導入**
- 3. 働き方改善のためのテレワーク導入**
- 4. 今後の取り組み**

1. 会社概要・働き方改善プロジェクト室の設置

会社概要

創 業: 1963年9月(昭和38年9月)

本 社: 石川県金沢市東蚊爪町1-19-4

事 業: 温泉開発をワンストップでトータルサポートする

『温泉事業』と、水質調査・分析、環境調査、地盤調査、
防災調査などの『環境事業』の2つの事業を柱に営業展開

拠 点: 穴水町、富山県、福井県、岐阜県、長野県、東京都、大阪府、福島県、沖縄県

社員数: 160人(技術職75%、男女比7:3)



働き方改善プロジェクト室の設置

期 間: 2019年4月 ~ 2021年3月(2年間)

狙 い: 働きやすい職場環境の創造



<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人材育成システムの体系化と運用 <ul style="list-style-type: none"> ・OJTガイドラインの作成、教育体系化 ・エオネックスアカデミー設立、研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 採用活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・Web会社説明会、採用試験の導入 ・UIターン転職者の採用活動強化
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人事関係システムの見直し <ul style="list-style-type: none"> ・各種規程整備(育児・介護、テレワーク) ・カオナビを導入し人事情報の集約と共有化 ・人事評価制度の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ITを活用した業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、社内研修等のZoom配信 ・名刺管理システムの導入 ・ワークフローによる電子化

2

2. コロナ契機のテレワークの緊急導入

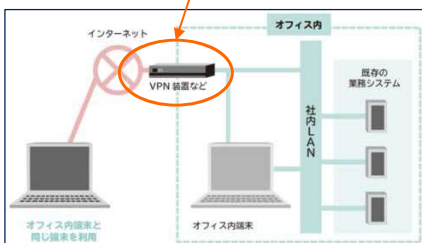
運用指針(ガイドライン)策定

- 目的 : 新型コロナウイルスへの感染予防や感染拡大防止
- 対象者 : 従業員・家族が感染の疑い有り、小学校等休校、電車通勤(東京)
- 対象業務: データ入力修正加工、確認、資料及び報告書作成、企画など考案する業務
- (現地作業や分析業務など物理的な操作を必要とする業務は対象外)
- 端末 : 会社貸与PCを持ち帰り(個人PC等は使用禁止)
- 通信環境: 自宅のインターネット通信環境を利用(公衆Wifiは使用禁止)
- 勤務日報: 電話、メール、チャット等で報告

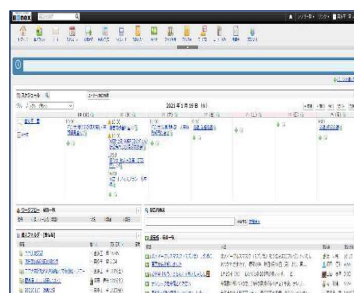
自宅から会社サーバ等へのアクセス

VPN装置

テレワーク助成金を利用



サイボウズリモートサービス



2020年

3月末 ガイドライン策定

4/10 5%(8名)

4/13 県緊急事態宣言

4/14 40%(64名)

4/23 66%(98名)

5/31 緊急事態宣言解除

6/1~ 東京支店勤務者の
テレワーク継続

3

2. コロナ契機のテレワークの緊急導入

社内アンケート結果

【課題】

◆課題① 業務進捗

- ・VPN接続が遅い
- ・紙書類が多い
- ・子供の世話



- ・VPN接続環境の改善
- ・電子化、押印廃止(社内から)

◆課題② 勤怠・成果管理

- ・成果がみえにくい、不安
- ・全体の予定が把握できない
- ・信頼関係が必要
- ・できる業務が少ない



- ・サイボウズに各人が予定を入力
- ・スマホ、チャット導入
- ・社内同様ほったらかしにしない
- ・電話で直接確認することも必要

◆課題③ 公平性

- ・PC、職種による差異
- ・通勤費、通信、電気



- ・ノートPCへ切り替え
- ・通信、電気料等の手当支給

◆メリット

- ・通勤時間削減(オフ時間増)
- ・ストレス減る
- ・問い合わせなく集中可



回答の約8割は業務改善するなど対象拡大し、継続要望という前向きな意見

3. 働き方改善のためのテレワーク導入

石川県専門家派遣依頼

- ✓コロナ対策と働き方改善とは目的を分ける。✓出張と同様と考える。
- ✓規則化は絶対ではない。✓可能な職種、部署から始める。
- ✓自律を目指し脱時間管理・みなし勤務。✓予定管理できるようにする。



的確なアドバイスを参考

①コロナ以外を理由とするテレワークの制度化

- ✓テレワーク勤務ガイドライン策定(2020年10月施行)
- ✓対象者を絞って可能な方から開始

	在宅勤務	モバイル勤務
理由・職種	育児介護、遠隔地、療養、首都圏 営業、事務職	出張先、移動時
頻度	週1以上、半日単位(事前申請)	任意
勤務時間	みなし勤務適用可能	出張同様みなし勤務適用可能
通勤費等	通勤費支給・その他手当なし	通常勤務と同じ
通信機器	会社PC持ち出し・VPNサーバ接続	→同様に可能とした

3. 働き方改善のためのテレワーク導入

②電子化・クラウド化による場所を選ばない業務へ

ワークフロー

人事管理

名刺管理

スマホ導入

勤怠・会計



2020年5月～

2020年7月～

2020年9月～

2020年10月～

2021年4月～

③三密を避けた会議・情報共有

朝礼Web配信

社内研修

Web会社説明会・面接



2020年7月～ 本社内・拠点・現場

6

3. 働き方改善のためのテレワーク導入

④攻め(利便性向上)とあわせた守り(セキュリティ)の強化

情報セキュリティガイドライン策定・全体研修

- ・スマホ、テレワーク導入と合わせて10月実施、運用開始
- ・従来あいまいであった運用ルールを明確に規定
- ・PCのログインパスワード管理強化
- ・持ち出しPC、USBメモリ等の暗号化
- ・メール利用方法
- ・スマホ利用ルール(Wifi接続、テザリング)

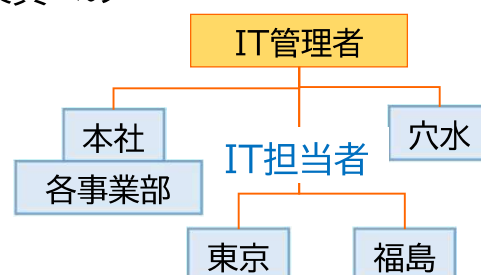


PASSWORD...



社内IT担当制の導入

- ・目的:新たなIT施策の全社展開、着実な実行、今後の改善のため
- ・背景:IT管理者(情報システム部門)だけでは全従業員への展開は困難
- ・IT担当者の選任
 - ✓実際にITツール等を利用する側のメンバーが主体的に関与し、意見を取り入れていくことが必要と考え、事業部・拠点ごとにIT担当者を選任
 - ✓まずは新規施策実行の担当からスタート



7

3. 働き方改善のためのテレワーク導入

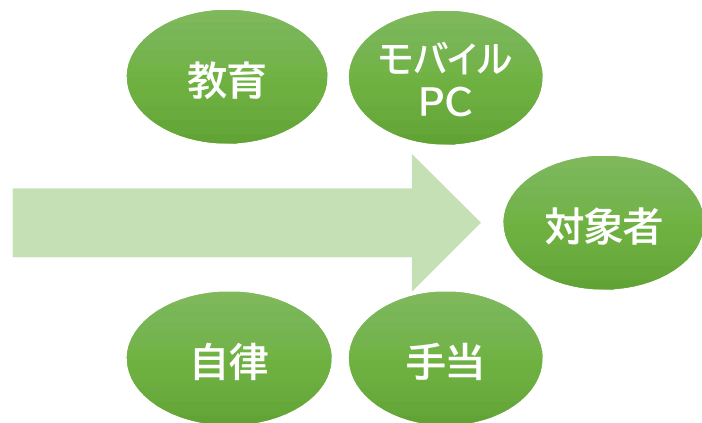
効果・メリット

- ①通勤時間削減、家族との時間増えた
- ②大雪時の利用、渋滞緩和
- ③育児介護、治療、遠隔地等多様な働き方
長く安心して働ける職場
- ④会議資料の印刷費、作業費削減(楽)
- ⑤探す時間の抑制、共有データの迅速有効活用



苦労した点・課題

- ①通信環境の整備
- ②運用ルールの社内浸透
- ③ITリテラシー不足
- ④PC環境、職種の違い、公平感
- ⑤上司部下の信頼関係



4. 今後の取り組み

今後の方針

IT活用促進により業務の効率化を図り、より生産性の高い業務へ

目的=テレワークというより、**まずテレワークできる業務に変革**

